



暑中お見舞い申し上げます。

おかげさまで

未来にアクセス エムシーアクセス


MCA無線機 販売1万台達成!



800MHz帯デジタルMCA無線機 (mcAccess e) の運用局数が、平成15年10月サービス開始から、本年4月末までに全国で10万台を超えました。なんとそのうち、当社がダントツ1位の1万台を販売することができました。誠にありがとうございます! (5年半で10万台)

企業の災害時の連絡手段BCP(事業継続計画)や、役所、自治体の防災・危機管理等、当社のシステム構築のノウハウや、きめ細かいサービスを評価していただいた結果だと思います。大変ありがとうございます。

緊急時の連絡手段や災害時の危機管理対策をお考えのお客様は当社にご相談ください!

業務用無線もデジタル本番 (2009.3月3日 電波新聞抜粋)

電波有効活用を目的に通信・放送のデジタル化が進んでいるが、生活基盤を支える業務用無線でも導入が盛んだ。電話回線やネット連動可能な新機能を備えたデジタルMCA“mcAccess e”は年内にも10万局の大台突破が見込まれている。短期需要向けレンタルにも対応できるデジタル簡易業務用無線製品も登場。09年はデジタル化本格スタートの年と期待されている。

無線通信は、災害時でも携帯電話のように通話制限がかからず、途切れない情報伝達手段として評価が高まっている。一度に複数の通信相手に同時通報できる機能、電話番号入力不要、通信料金低廉などが、携帯電話とは異なる利便性として認知されている。04年11月施行の改正道路交通法で運転中の携帯電話使用が禁止されたが車載型無線機は規制対象外になったことも市場拡大の追い風になっている。無線通信機器各社は、操作簡便、堅牢性、運用コスト低減、同時通報可能、業務専用利用などが「導入理由」と分析している。

mcAccess eではタクシー無線や、地域防災無線など公共関連業務への導入事例も増えており、普及促進事業を展開しているエムシーアクセス・サポートは「導入コスト低減と柔軟なシステム構築が評価されている」と見ている。

タクシー無線のデジタル化では、稼働車両の位置管理や顧客情報のデータなど収益に直結する情報提供を可能にする事業根幹システムとして大都市の大手から導入が進んでおり「今年も地方都市の裾野開拓が進む」と各社期待している。

大人気!

バッテリー内蔵型3ウェイ電源装置 『TDF-101II』

自治体などへの
導入実績多数!
電気用品安全法
適合検査もクリア!
停電時も確実に
電源を供給でき
ます。



今年も、危機管理産業展に出展します

10/21(水)~23(金)、東京ビックサイトにて開催される『危機管理産業展2009』に昨年に続き5回目の出展をします。「防災」「防犯」「リスク管理」をテーマに、昨年は300を超える企業・団体が出展し、のべ約6万人の来場者を数えました。当社の無線機も実際にお手にとってお試しください。皆様のお越しをお待ちしています!



昨年の当社ブースの様子

上記に関するお問合せは、0120-150-712 または info@tanaka-denki.co.jp

秋葉原ファクトリーは田中電気のお客様のための窓口です

田中電気セレクト商品情報

★お問合せは→マーケティング部 担当渡辺 までお気軽に！
フリーダイヤル 0120-150-712

防犯カメラシステム用タイムラプスVTRを
リプレースしませんか？

日立 防犯カメラシステム用9CH
デジタルレコーダー(500GB)
『DS-G250』

本体希望小売価格 ¥730,000(税抜)のところ…

¥179,800(税抜) 2009年9月まで期間限定特価です

ご存知でしょうか？防犯カメラ用タイムラプスVTRをお使い
のお客様！タイムラプスVTRが故障すると、ビデオヘッドや
テープ走行系の部品交換(オーバーホール)が必要です。その費
用の目安は、約10~12万円と高額です。導入してから年数が経
過している場合、いつ故障するかも知れません。

そこで田中電気では、タイムラプスVTRから日立のデジタル
レコーダーへの入替えをご提案いたします。

日立のDS-G250は500GBの大容量HDDを搭載し、長時間
録画を実現しています。詳しくはお問合せください！

安全第一！

“安全衛生大会”を開催しました

梅雨が明けた7月13日、本社近くの都中小企業
振興公社にて、協力会社様を含め全130名
参加のもと安全に対する意識を高めました。
今後、プライバシーマークの取得を目指すこ
とや、全11事業部の安全活動報告、最後は
全員で安全標語の唱和で閉会しました。
安全第一でお客様に安心していただける仕事
をしてまいります！



←難易度の高い
仕事に従事した
安全衛生表彰、
交通安全、4S
の表彰者

今年の
当社の安全標語は、
『見過ごしません
小さなリスク ゼロ災職場の合言葉』

江戸の歴史

『柴又帝釈天』

シリーズ No. 31

寅さんで有名になった柴又の帝釈天は、経栄山題経寺(日蓮宗)とい
い、寛永年間の創立で開山は下総中山法華経寺第十九世禅那院日忠(ぜ
んないんにちゅう)上人、開基は第二代題経院日栄上人である。

昔より日蓮聖人御親刻と言われる帝釈天のご本尊が安置されていた
が、中世この本尊が一時所在不明となっていた。安永年間に至り第九代
亨貞院日敬(こうていいんにちきょう)上人は此の寺のお堂が荒廃した
のを歎き、その復興を計ったところ、偶然にも安永八年春、庚申(かの
えさる)の日にこの板本尊が本堂棟上より発見された。日敬上人は自ら
誌した略縁起に「本堂棟上より出現した本尊は長さ二尺五寸、幅一尺
五寸、厚さ五分の板で、形に似ずまことに重く、且つ堅く塵に汚れてよ
く判らなかつたが、水で清めたところ、片面は日蓮聖人の真刻、片面
は帝釈天王の像であり、これこそ疑うべくもなく、当寺相伝の祈祷本尊
である。」と非常な驚きと喜びを述べられている。

この御本尊は庚申の日に出現したもので、以来庚申の日を縁日として
都心から暗い田んぼ路を三々五々連立って参り、知らない人も途中であ
えば、必ずお互いにお早うと挨拶していく有様は昔の質朴な風情を見
るようである。

見渡す限りの葛飾田んぼには提灯が続き、これが小梅、曳舟から四ツ木、立石を経て曲金(高砂)の渡しから柴
又への道を又千往、新宿を通過して柴又へ至る二筋の道に灯が揺れて非常に賑やかだったと言う事である。茶屋の草
だんご等は今に至っている。人々は帝釈天の本堂で一夜を明かし、一番開帳を受け、庭先に溢れ出る御神水をいた
だいて家路についたのであった。

平成3年彫刻ギャラリー完成、平成6年本堂欄間には「群猿遊戯図」を完成させた。必見ものです。

■京成金町線「柴又駅」から徒歩3分(帝釈天案内参照)



編集後記 46年ぶりの皆既日食を会社のハイビジョンTVで観ました！この日東京は雨でしたが、NHKの硫黄島からの中継は晴れていて、完全な皆
既日食時は薄暗く(というか薄い藍色)なった中、見渡す限りの水平線はぐるっと薄いオレンジ色に光っていてほんとうに幻想的でした。会社には上海
まで観測に行った人もいて羨ましい限りです。次に観測できるのは26年後。実際にこの目で見てみたいものです。